

[ 福祉用具専門相談員向け ]

# ハンドル形電動車椅子の貸与実務における 安全利用のためのガイドライン

-ハンドル形電動車椅子を安全にご利用いただくために-

令和 3 年 3 月

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

## はじめに

---

ハンドル形電動車椅子は、歩行に困難を感じる高齢者にとっての移動手段や、自動車運転免許を返納した高齢者の代替移動手段として、近年広く普及しつつあります。

一方、ハンドル形電動車椅子の利用中の事故も少なからず発生しています。消費者庁の資料やデータをもとに一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会が調査したところ、ハンドル形電動車椅子を利用中の死亡・重傷事故は、平成20年から令和2年までに66件発生しています。

ハンドル形電動車椅子は免許の取得が不要で、近距離の移動で便利な反面、高齢者の利用が多く、早歩き程度の速度で動くことや、歩道や施設内も走行できることなどから、自動車との衝突事故や利用中の転倒・転落などに加え、他の歩行者にぶつかってケガをさせるなど、様々なリスクが存在します。このため、ハンドル形電動車椅子の貸与に携わる福祉用具専門相談員にとって、利用者が安全に利用できるかどうかの評価が、事故防止のために極めて重要となります。

こうしたことを踏まえ、このたび当協会では、福祉用具専門相談員の皆様を対象とした「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のためのガイドライン」を作成しました。本冊子では、実際のハンドル形電動車椅子の貸与実務において、利用者が安全に利用できるかどうかを福祉用具専門相談員が見極める際の考え方や評価項目をガイドラインとして示しました。また別冊子として、ハンドル形電動車椅子を安全に利用してもらうために、福祉用具専門相談員が利用者に対して行うべき指導の内容・手順をとりまとめた「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のための指導手順書」を作成しています。

福祉用具専門相談員の皆様が本冊子を活用し、利用者に対する適切な評価を通じて、ハンドル形電動車椅子の安全利用の更なる促進につながれば幸いです。

本冊子は、各種の電動車椅子の中でも、最も普及台数の多い「ハンドル形電動車椅子」に関する内容となっています。また介護保険による貸与のケースを対象としています。

# 目次

<b>第 1 章 全般</b> .....	<b>1</b>
1. ハンドル形電動車椅子の特性と利用上のリスク .....	1
2. 本冊子の活用方法 .....	2
3. 参考資料（本冊子と併せて使用する冊子など） .....	2
<b>第 2 章 安全利用のためのガイドライン</b> .....	<b>3</b>
本章の全体像 .....	3
1. 貸与プロセスにおける安全利用の確認・評価.....	4
(1) 貸与依頼時における情報収集と課題の整理.....	4
(2) 面接（インテーク） .....	6
(3) 操作指導 .....	7
(4) 福祉用具サービス計画書の作成（5）サービス担当者会議（6）契約（貸与開始）	12
(7) モニタリング・メンテナンス.....	13
2. 貸与中止対応のポイント .....	15
3. 事故対応のポイント .....	16
4. まとめ.....	18
<b>巻末資料</b> .....	<b>19</b>

## 第1章 全般

### 1. ハンドル形電動車椅子の特性と利用上のリスク

ハンドル形電動車椅子は免許が不要で、近距離の買い物や通院等に便利であり、介護保険制度の車椅子貸与サービスとしての利用も可能なことから、近年利用者は増えつつあります。

一方でハンドル形電動車椅子の特性に起因する利用上のリスクも少なからず存在します。主な利用上のリスクは以下の通りであり、適切なアセスメントと操作指導、さらに利用開始後の定期的なモニタリングが重要となる福祉用具の1つであるといえます。

#### [ ハンドル形電動車椅子の特性と利用上のリスク ]

特性	利用上のリスク
早歩き程度のスピードで走行する	道路や踏切横断時の事故（横断に時間がかかる）
重量がある	緊急時（踏切脱輪時など）の自力退避が困難
高齢者の利用が多い	操作ミスや注意力・判断力の低下による事故
電動で動く	バッテリー切れによる走行停止
歩道や施設内を走行できる	他の歩行者や自転車、建物・設備への衝突
座った姿勢で外出ができる	高さが低く自動車から見落とされやすい
三・四輪で走行・旋回する	左右の段差、側溝、内輪差による脱輪・転倒
車幅がある	車幅感覚のズレによる他者・他物との接触

#### [ 主な事故事例 ]



また、ハンドル形電動車椅子は、利用者の心身機能や利用環境が一人ひとりで異なるため、利用上のリスクもそれぞれ異なります。このため貸与に当たっては、利用上のリスクを適切に評価するとともに、評価結果を利用者への指導に反映させることが重要になります。

## 2. 本冊子の活用方法

本冊子は、ハンドル形電動車椅子を利用者の方に安全に利用してもらうために、「ハンドル形電動車椅子の貸与可否を見極め、福祉用具専門相談員としての所見を適切に伝えるためのガイドライン（基本となる考え方や評価項目）」について、ハンドル形電動車椅子の貸与実務のフローに沿った形で、ポイントを押さえた解説を行っています。

現場におけるハンドル形電動車椅子の貸与実務において、福祉用具専門相談員の皆様が本冊子を参照しながら、貸与にあたっての安全性の評価を行っていただくことに加え、事業所内における勉強会の資料としても活用いただけます。

また巻末資料では、評価項目や指導項目を一覧化したチェックシートや、本冊子で紹介している各種の書式例をとりまとめています。貸与実務において、必要に応じ福祉用具サービス計画書の添付資料としても活用して下さい。

なお、別冊子として「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のための指導手順書」を作成しています。こちらの冊子では、ハンドル形電動車椅子を安全に利用してもらうために、福祉用具専門相談員が利用者に対して行うべき指導の内容・手順をとりまとめています。安全利用のための指導実務については、こちらの冊子を活用してください。

## 3. 参考冊子（本冊子と併せて使用する冊子など）

本冊子は、福祉用具専門相談員の皆様が行う、ハンドル形電動車椅子の貸与可否の評価に的を絞った内容としています。利用者に対する実際の評価にあたっては、併せて以下の冊子類を併用するようにしてください。

[ 参考冊子（出典） ]

- ・「電動車いす 安全利用の手引」（電動車いす安全普及協会）  
[https://www.den-ankyo.org/guidance/img/tebiki\\_all.pdf](https://www.den-ankyo.org/guidance/img/tebiki_all.pdf)
- ・「電動三輪車四輪車 使い方手引き」（公益財団法人テクノエイド協会）  
<http://www.techno-aids.or.jp/research/vol13.pdf>

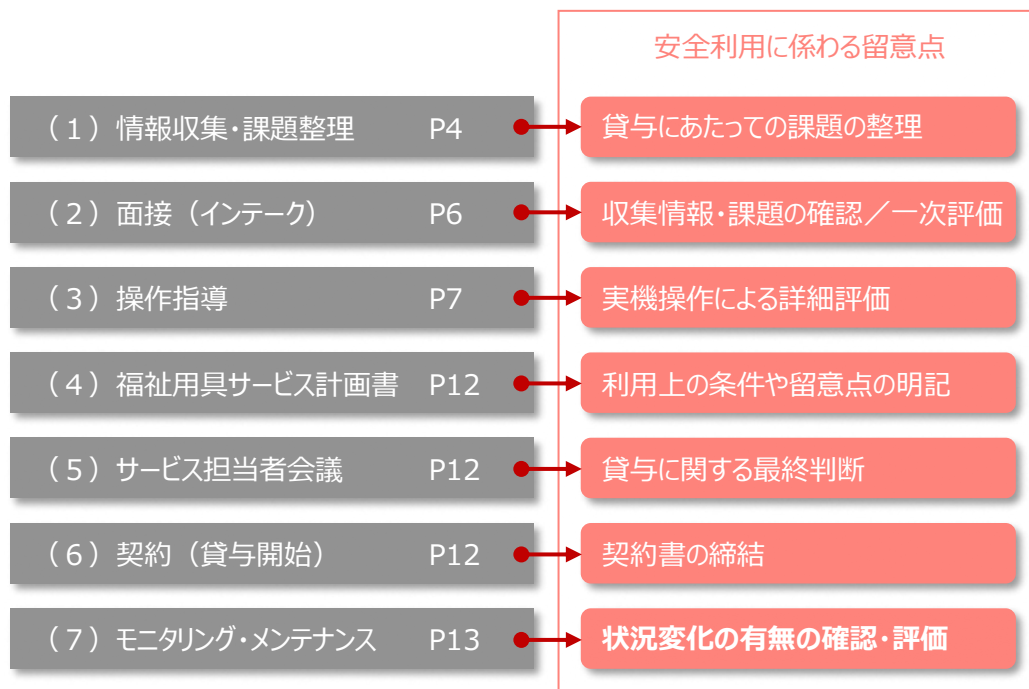


## 第2章 安全利用のためのガイドライン

### 本章の全体像

本章では、利用者がハンドル形電動車椅子を安全に利用できるかどうかを検討するに際しての、基本的な考え方や評価項目について、貸与実務のプロセスに沿って解説します。

#### 1. 貸与プロセスにおける安全利用の確認・評価【P4】



#### 2. 貸与中止対応のポイント【P15】

#### 3. 事故対応のポイント【P16】

# 1. 貸与プロセスにおける安全利用の確認・評価

## (1) 貸与依頼時における情報収集と課題の整理

- ハンドル形電動車椅子の貸与について照会や依頼があった場合は、担当のケアマネジャーから利用者に関する基本情報を収集します。
- ケアマネジャーから収集した基本情報を確認し、貸与にあたっての課題を整理します。
- 安全利用に関する情報については、できるだけ詳細に確認し、必要に応じて追加収集を行います。

ハンドル形電動車椅子の貸与について照会や依頼があった場合、まずは利用者に関する基本情報を、担当のケアマネジャーから収集します。

その後、入手した利用者に関する基本情報を精査するとともに、利用目的等に関する個別情報を聴取し、利用者の人物像をイメージした上で、ハンドル形電動車椅子の利用検討に必要な情報を整理・集約します。

その上で、ハンドル形電動車椅子の利用にあたっての課題の有無を検討し、この後の面接や操作指導で重点的に確認するようにします。

[ ハンドル形電動車椅子・課題整理表 (例) ]

項目	内容	課題 (要確認事項など)
利用目的・背景		
本人・家族の思い		
医療情報		
心身機能		
生活動作能力		
環境情報		
家族・介護者情報		
介護保険サービスの利用可否		

### 安全利用の Point

とりわけ「心身機能」、「生活動作能力」、「医療情報 (特に認知能力)」、「環境情報 (特に居住環境)」は安全利用に関する重要な情報といえます。情報が不足している場合は、ケアマネジャーに対し積極的に照会を行うようにします。そのためにも、平素からケアマネジャーとの良好な関係作りを行っておくことが大切となります。

## 留意すべき疾患について

ハンドル型電動車いすは歩行者扱いのため、法的な利用制限はありませんが、利用上の特性については、自動車の運転と共通する部分があります。このため、利用者が「認知・予測・判断・操作」を適切に行うことができるかどうか重要なポイントとなります。

自動車等の運転免許では、「運転に支障をおよぼすおそれのある一定の病気等」として、いくつかの具体的疾患名が挙げられており、免許取得や更新の際に症状や障害の程度について診断書等で確認することとしています。以下では、運転免許の場合における留意すべき疾患や問題となる症状を例示しますので、参考にして下さい。

[ 参考：自動車等の運転免許に関する留意すべき主な疾患 ]

疾患名	安全利用に支障のある症状
アルコールの中毒者およびアルコール依存症	中毒症の診断であれば原則として適性はない。依存症の場合は慎重に判断する
認知症、軽度認知機能障害	認知症の診断であれば原則として適性はない。軽度認知機能障害の場合は慎重に判断する
脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作等）、頭部外傷後遺症、脳動脈瘤破裂、脳腫瘍等	見当識障害、記憶障害、判断障害、注意障害、半側空間無視、半盲、運動機能障害（麻痺や失調等）があり、安全利用に影響がある場合
重度の眠気症状を呈する睡眠障害（睡眠時無呼吸症候群、ナルコレプシー等の過眠症）	重度の眠気により、安全利用に影響がある場合
再発性の失神（反射性（神経調節性）不整脈、起立性低血圧、糖尿病等による無自覚性低血糖、埋込型除細動器を埋め込んでいる場合等）	意識消失発作がある場合
症候性てんかん（脳卒中、頭部外傷、髄膜炎、脳炎などによる）、特発性てんかん（原因不明のもの）	意識消失や運動障害などの発作がある場合、または発作がなくても服薬指導を守れない、服薬により安全利用に影響がある場合
統合失調症や持続性妄想性障害等の精神障害	幻覚の存在や他者が理解不能な確信があり、安全利用に影響がある場合
そううつ病	注意力の低下やその他の影響で安全利用に影響がある場合
白内障、緑内障、網膜色素変性症などの眼疾患	白内障では著しい視力低下、緑内障および網膜色素変性症では、明確な視野障害があり、安全利用に影響がある場合
パーキンソン病	巧緻動作等運動機能の低下、注意力等認知機能の低下、突発性睡眠、服薬による症状の変化等で安全利用に影響がある場合

※警察庁通達「一定の病気等に係る運転免許関係事務に関する運用上の留意事項について」を参考に作成



## (2) 面接（インタビュー）

- 利用者との面接で、「(1) 貸与依頼時における情報集約と課題の整理」で得た情報と照合します。
- 安全な利用を明らかに阻害する要因が確認できた場合は、この段階で利用が困難な旨を伝えます。

「(1) 貸与依頼時における情報集約と課題の整理」で得た情報をもとに、実際に利用者本人にお会いして、これまでに得た情報と照らし合わせ、必要に応じて更新します。なお、面接の際は、ケアマネジャーや家族などの関係者にも同席してもらうようにします。

面接においては、身体機能、認知機能、利用環境などの確認を行い、この後の操作指導に進めてよいかを判断しますが、この段階で安全な利用を明らかに阻害する要因が確認できた場合は、利用が困難な旨を伝えます。利用の見送りを検討すべき主な状況としては以下のケースが挙げられます。

### [ 面接での主な確認事項と利用の見送りを検討すべき主な状況 ]

分類	主な確認事項	利用の見送りを検討すべき主な状況
身体機能	<input type="checkbox"/> 上肢機能（手指の巧緻性を含む）の状況	<b>握力の低下</b> や震え、 <b>巧緻動作の低下</b> 等でハンドルやアクセルレバー等の操作をスムーズに行えない。
	<input type="checkbox"/> 下肢機能の状況 （歩行能力、移乗能力など）	<b>下肢筋力の低下</b> や麻痺による立位、歩行バランスの低下により、歩行や移乗が著しく困難である。
	<input type="checkbox"/> 体幹機能の状況 <input type="checkbox"/> 麻痺の有無や切断・欠損などの身体状況	体幹の機能に障害があり <b>着座姿勢が安定しない</b> 。四肢に欠損や麻痺があり、補助具や代替手段を用いても適切に操作が出来ない。
	<input type="checkbox"/> 見えにくさ	<b>視力の著しい低下</b> 等により、道路標識等の認識に困難がある。視野が狭く、脱輪、転落等を引き起こす可能性が高い。
	<input type="checkbox"/> 聞こえにくさ	補聴器等を用いても、10mの距離で踏切の警報音や救急車のサイレン等が聞こえない。
認知機能	<input type="checkbox"/> 注意力、記憶力、意思疎通のスムーズさ、など	ゼスチャーや図示などの補助手段を用いても意思疎通に問題がある。会話が成立しない。 <b>基本操作や安全利用のための手順などが習得されない</b> 。運転に必要な注意力に欠ける、または一定時間維持できない。 <b>記憶力の低下があり注意事項を守れない</b> 。
利用環境	<input type="checkbox"/> 主な利用目的地、利用ルート、利用時間帯における安全性	急坂や踏切の利用が不可欠である（迂回路がない）、夜間利用が不可欠である等で、安全に通行できることが見込めない。
	<input type="checkbox"/> 保管・乗降スペース、充電の可否	保管・乗降のスペースがない。保管場所に充電設備がない。
	<input type="checkbox"/> 自宅前道路における安全性	保管場所から道路に出る際の安全性に重大な問題がある。
その他	<input type="checkbox"/> 運転態度 <input type="checkbox"/> 日ごろの行動癖など	安全利用のための指示に従おうとしない（ <b>飲酒運転、交通法規の不遵守、道路の斜め横断、使用条件の不遵守、注意事項の不遵守</b> ）。適切でない飲酒習慣や薬剤・薬物の乱用がある。

※太字は、当協会による調査で明らかになった、実際の貸与中止（もしくは見送り）事例です。

※上記の「利用の見送りを検討すべき状況」は、必ずしも利用自体を否定するものでなく、安全に利用できる方策があれば、次のステップに進めて構いません。

### 安全利用の Point

身体機能や認知機能について判断がつかない場合は、かかりつけ医の助言を仰ぐようにします。

### (3) 操作指導

- 操作指導は、「基本事項の説明」、「基本的な操作指導」、「路上での実践指導」に分けられます。
- 実際の操作を理解・習得してもらうと同時に、安全に利用できるかを確認します。
- 評価を適切に行うため、事前に準備を行い、指導当日は時間を十分にとるようにします。
- 明らかな不安要素がみられる場合は、利用が困難な旨の相談員としての所見を伝えます。

「(2) 面接（インテーク）」までの段階で特段の支障がないと判断できた場合は、実際に実機を使った操作指導を行います。安全に利用できるかどうかは、実際に乗ってもらわないとわからないことが多いため、ここでのチェック・評価が安全利用を左右すると言っても過言ではありません。このため、事前に入念な準備を行い、当日は十分に時間をとるとともに、ケアマネジャーや家族などの関係者にも同席してもらうようにします。

操作指導における主な評価項目は以下の通りです（指導内容の詳細については別冊子を参照）。踏切や勾配のきつい急坂（傾斜角度 10 度以上：登降坂性能に関する警告機能の付いた機種の場合アラームを発する角度）が存在する場合は、指導員自身が必ず現場を確認します。メインとなるのは「路上での実践指導」ですが、その前後のプロセスも含め、操作指導全般にわたって注意深くチェックすることが求められます。一連のチェックが完了したら、総合評価を行います。

#### [ 操作指導時における評価項目 ]

##### ①基本事項の説明

巻末資料 1 参照

分類	指導内容	評価項目
基本的な構造・機能	<input type="checkbox"/> バッテリー（電池）で動く <input type="checkbox"/> 速度は歩行者並み（最高速度 6km/h）	<input type="checkbox"/> 説明や特性を適切に理解できているか
基本的な交通法規	<input type="checkbox"/> 歩道を通行 <input type="checkbox"/> 歩道がなければ右側通行（歩行者と同じ）	

##### ②試乗（その1）基本的な操作指導

分類	指導内容	評価項目
乗降・運転前確認	<安全な乗車・降車方法> <運転前確認事項>	<input type="checkbox"/> 歩行および乗車・降車が自力で安定してできるか <input type="checkbox"/> 説明通りに実践できるか
操作指導① 静止状態での指導	<操作指導内容（静止状態）>	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか
操作指導② 走行状態での指導	<操作指導内容（走行状態）>	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか <input type="checkbox"/> 反応速度に問題ないか

分類	指導内容	評価項目
(1) 主な禁止事項・注意事項の説明	<主な禁止事項> <主な注意事項>	<input type="checkbox"/> 説明を適切に理解できているか
(2) 自宅付近での操作指導	<input type="checkbox"/> 保管場所からの出し入れ <input type="checkbox"/> 自宅敷地から自宅前道路での出し入れ <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）充電	<input type="checkbox"/> 衝突・転倒などのリスクはないか <input type="checkbox"/> 敷地から出る際に安全確認ができているか？ <input type="checkbox"/> 安全かつスムーズな出し入れができているか <input type="checkbox"/> 保管場所付近にコンセントはあるか、充電操作がスムーズにできるか
(3) 実使用ルートでの指導	<操作面の指導> <安全面での指導> <環境面>	<全般> <input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できているか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか <input type="checkbox"/> 交通法規を守れているか <input type="checkbox"/> 危険の回避ができているか  <安全面> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端をふらつきなく走行できているか <input type="checkbox"/> 歩行者や障害物を確実にかわし、安定走行を維持できるか <input type="checkbox"/> 段差の乗り越えは適切に対処できているか <input type="checkbox"/> 右左折時に内輪差を意識した走行ができているか <input type="checkbox"/> 安全に対する意識は十分か（目視確認、一時停止、最適速度、歩行者優先） <input type="checkbox"/> 信号の色を認識できるか <input type="checkbox"/> 周囲の音（車の接近音など）が聞こえているか <input type="checkbox"/> 自動ドアの通過やエレベーターの乗降はスムーズにできるか <input type="checkbox"/> 訪問先での保管・乗降スペースにおける安全性は問題ないか <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での重心のかけ方は適切にできているか  <環境面> <input type="checkbox"/> 走行経路の安全性に問題はないか - 急坂・踏切の有無 - 転落リスクの有無（ガードレールのない路肩の傾斜した道、ふたのない側溝や用水路など） - 車両や歩行者が多く歩道のない狭い道の有無 - 信号機の間隔が短い交差点、など <input type="checkbox"/> 1回の走行距離は満充電で十分に余裕のある範囲内か
(4) 事故・故障時に備えた指導	<考え方> <非常時の操作>	<input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できるか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか
その他気づき事項		

総合所見	<input type="checkbox"/> 貸与可（課題・留意点： ) <input type="checkbox"/> 再評価・再指導（理由： ) <input type="checkbox"/> 貸与不可
------	---

### 安全利用の Point

- 踏切や勾配のきつい急坂が存在する場合は、必ず現地を確認します。
- 複数回指導を行っても、以下の点で改善が見られない場合は、利用が困難な旨の所見を利用者又はご家族へ伝えます。その際は、利用困難であることを理解してもらうために、理由も含め、丁寧な説明を行って下さい。
  - 繰り返し説明しても内容を理解できない
  - 指導内容を軽視する言動がみられる
  - 操作や判断で明らかかな不安要素がみられる

## 踏切への対応

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の調査によれば、踏切で発生した電動車椅子利用中の死亡事故は、2009年度～2018年度までの10年間で合計11件（うちハンドル形が10件）発生しています。これを使用期間別でみた場合、使用期間1年未満の事故が6件で、死亡事故全体の過半を占めています。

踏切には、「警報機+遮断機付」の踏切だけでなく、「警報機だけ」のものや「警報機や遮断機もない」踏切もあります。

さらに、踏切によっては路肩の段差が大きいものや、道幅が狭いもの、交通量が多くわたりにくいもの、踏切の距離が長いものなど様々なものがあります。

ハンドル形電動車椅子を踏切で利用する際のリスクには以下のようなものがあり、単独での利用には大きな危険が伴います。

このため利用者に対しては、原則として踏切は利用しない（必ずう回路を利用する）こと、また、やむなく踏切を利用する場合は、介助者に同伴してもらうことの指導を、利用開始時に徹底することが大切となります。

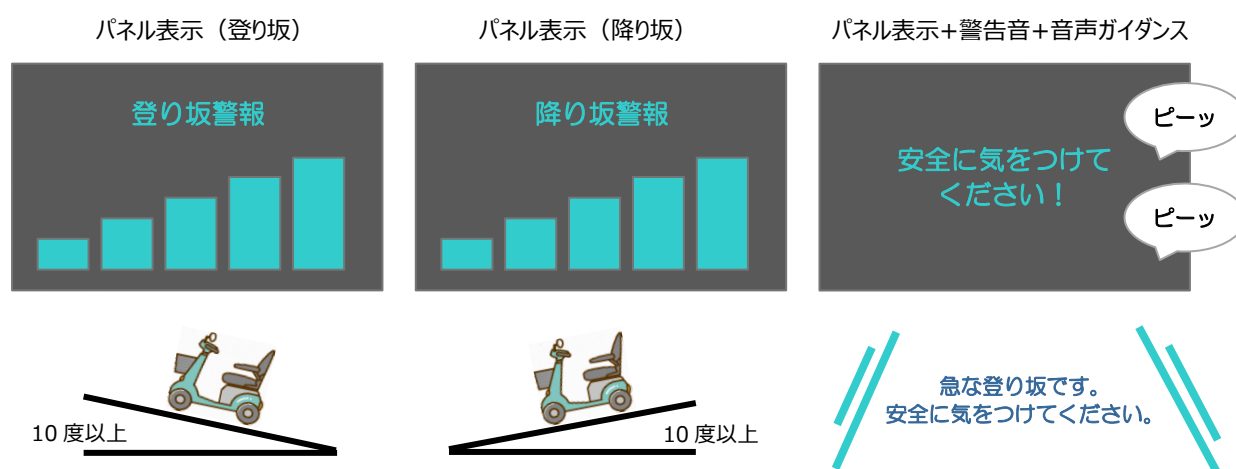
### [ ハンドル形電動車椅子の踏切利用のリスク ]

危険事象		リスク
踏切道を時間内に渡れない	列車の運行本数が多く、渡る時間が短時間しか確保できない	踏切の遮断までに踏切を渡り切れず、踏切内に取り残される可能性
	踏切の長さが長いため、短時間で渡ることができない	
	踏切内の人・車の通行量が多く、スムーズに走れない	
踏切道から出られない	踏切の道幅が狭く、脱輪しやすい	踏切内で脱輪し、走行不能となる可能性
	踏切道内の段差や、レールと路面との隙間に車輪がはまる	車輪がはまり、走行不能となる可能性
その他	警報機のない踏切で、列車の接近に気づかない 警報機の音に気付かず踏切内に進入する	走行中の列車との衝突の可能性
	踏切を待っている間に意識不明となり、アクセル操作をしたまま踏切内に進入	

## 急坂への対応

勾配のきつい急坂は、下り坂での意図しない急加速による衝突や、急ハンドルを切った際の転倒など、重篤な事故が起きやすい危険な場所の1つです。ハンドル形電動車椅子については、登降坂性能に関する警告機能（傾斜角度 10 度以上（勾配 17.6%以上）の場所で使用するとアラームを発する機能）が装備されているものがありますので、利用ルートで坂道がある場合は、こうした警告機能付きの機種を選択するようにしましょう。

### 傾斜警告装置の例（イメージ）



なお、スマートフォンを使って傾斜角度の測定ができる各種のアプリケーションがあるほか、ホームセンター等でも傾斜角度を測定するための傾斜計を扱っています。自身にとって使いやすいものを選択し、活用するとよいでしょう。

傾斜計

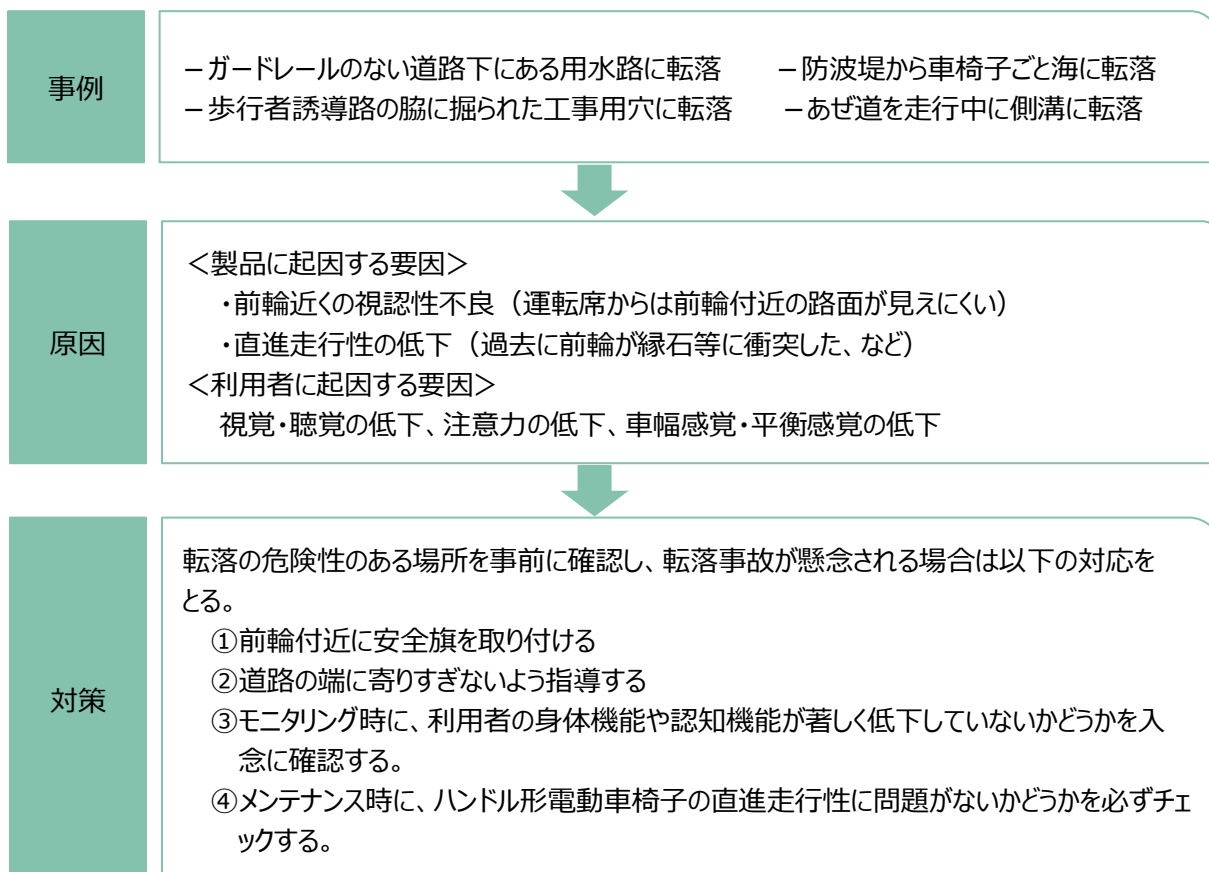
検索

**※クラッチを切った状態で坂道を通ると、ハンドル形電動車椅子の電磁ブレーキ機能がオフとなり、急加速を起こすため大変危険です。このため、クラッチ操作の説明を行う際は、非常時以外には絶対に操作を行なわないよう、必ず指導してください。**

## 転落リスクへの対応

川や用水路が並行している道、土手や側溝がある道、路肩が傾斜している道などでは、ガードレールがない場合、車輪が道から逸脱すると、そのまま車体ごと転落するリスクがあります。こうした転落事故では、川や用水路で溺れる、頭部を地面に強打するなどのほか、乗っていた車椅子が利用者を上から直撃するケースもあり、死亡事故や重傷事故につながりやすいといえます。

転落事故の事例や原因と、これらを踏まえた対策を以下に示します。踏切や急坂と同様に、使用ルートで転落事故の危険性がないかどうかについても事前に確認し、転落リスクが懸念される場合はこれに応じた対策や指導を行うことが求められます。





## (4) 福祉用具サービス計画書の作成 (5) サービス担当者会議 (6) 契約 (貸与開始)

- 利用上の条件を付す場合は、福祉用具サービス計画書の「留意事項」欄に明記します。
- 福祉用具サービス計画書に操作指導の際に確認したチェックリストを添付することで、その後の使用評価や事故発生時に対応できる記録となります。
- 事故発生時の対応についても、事前に説明します。
- 他のサービス提供事業者には、利用上の留意事項を共有します。

「(3) 操作指導」の結果、ハンドル形電動車椅子の利用が可能と判断した場合は、福祉用具サービス計画書を作成し、サービス担当者会議での確認を経て、契約書を交わします。その際、利用上の課題や留意点があった場合は、福祉用具サービス計画書の「留意事項欄」に記入するようにします（記入例は下記参照）。なお、操作指導の際に確認したチェックリストを福祉用具サービス計画書に添付することで、その後の使用評価や事故発生時に対応できる記録となります。事故発生時の対応についても、予め必ず説明するようにしてください。

加えて、訪問介護事業所など他のサービス提供事業者には、ハンドル形電動車椅子の利用上の留意事項を共有の上、日常生活における利用状況を確認してもらうようにすると良いでしょう。

### [ 福祉用具サービス計画書の「留意事項欄」記入例 ]

- 指導内容を守り、交通ルールに従って、安全に利用してください。
- 以下のような状況での使用は避けてください。
  - 単独での踏切横断
  - 急坂での使用
  - 飲酒状態での使用
  - 単独での夜間使用
  - 幹線道路における車道での走行
  - 道路の斜め横断走行
  - 運転中の携帯電話の使用
- 新たなルートを初めて走行する際は、危険箇所を慎重に判断するとともに、介助者に同行してもらうなどの安全対策を十分に講じてください。
- 不具合が発生した場合は使用を控え、直ちに弊社の担当者あてにご連絡をお願いします。
- 使用中に事故に遭った場合は、直ちに弊社の担当者あてにご連絡をお願いします。

### 安全利用の Point

- ① より安全に使用してもらうためには、主な利用ルートや危険箇所（交差点、踏切、急坂など）を示した地図を利用者に渡して注意を促すようにすると、さらに効果的です。
- ② 当協会の調査では、交通法規に従わないことに起因する事故が多くみられます。交通法規を正しく守って利用することを、繰り返し念押しするようにしてください。
- ③ 当協会の調査では、貸与の開始から間もない時期に事故が発生しやすい傾向がみられています。このため、貸与開始から3ヶ月程度の期間は、利用者が安全に利用できているかどうかについて注意を払い、利用状況を確認する機会を設けるようにしてください。

## (7) モニタリング・メンテナンス

- 使用者の心身機能や使用環境等の変化を見逃さないようにします。
- モニタリングやメンテナンスでの評価結果によっては、貸与の中止を検討します。

貸与後のモニタリングやメンテナンスは、利用者が実際に安全に利用できているかどうかを確認するための非常に重要なプロセスになります。特に重視して確認・評価すべき点は以下の通りです。

- ✓ 使用者の変化（身体機能や認知機能等）による安全性への影響
- ✓ 使用環境の変化（ルートや目的地の変更、自動車通行量の変化、工事個所の発生等）による安全性への影響
- ✓ 使用機器の状態（製品の破損、走行・停止・旋回・計器表示等の機能不備等）による安全性への影響
- ✓ 貸与開始時における利用条件の遵守状況

その上で、後述の「2. 貸与中止対応のポイント」(P15) に該当する状況が明らかになった場合は、貸与の中止について検討を行います。

上記を踏まえたモニタリング時およびメンテナンス時における、安全利用面での確認・点検項目の例を以下に示します。

### [ モニタリング時の確認項目 ]

巻末資料 1 参照

分類	番号	主な確認項目	確認のポイント	確認結果	問題ありの場合の指導内容
安全利用に関する状況	1	製品の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外観等で目立つキズはないか</li> <li>■ 走行機能は正常か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	2	走行距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用目的に照らし、適切な距離か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	3	操作面	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作は問題なくできているか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	4	安全面	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 貸与開始前の安全面での指導を実践できているか</li> <li>■ 交通法規を遵守しているか</li> <li>■ 契約時の確認事項を遵守しているか</li> <li>■ 事故やヒヤリハットに遭遇していないか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	5	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 契約時に想定していた使用目的やルートに変更はないか</li> <li>■ 契約時に想定していた使用ルートで危険個所が新たに生じていないか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	

分類	番号	主な確認項目	内容
関係者の意見	1	家族の意見	
	2	ケアマネジャーの意見	
	3	他の医療・介護サービスからの意見（医療・認知・身体機能）	



[ メンテナンス時における点検項目 ]

番号	主な点検項目	チェックポイント
1	車椅子の外観・足回り	損傷がないか
2	ハンドル	操作時にゆりみやがたつきがないか、まっすぐ進むか
3	バッテリーの残量表示	正しく表示されるか
4	バッテリーの状態	劣化・損傷がないか
5	表示パネル	正常に表示されるか
6	速度設定スイッチ	速度が正常に変化するか
7	ヘッドランプ	正常に点灯するか、損傷がないか
8	バックミラー	損傷がないか、正しく調整できているか
9	手動ブレーキレバー	利きが正常か
10	アクセルレバー	利きが正常か
11	ホーンスイッチ（警笛）	正常に鳴るか
12	前後進切り替えレバー	正常に切り替えできるか
13	ウインカー（前・後）	正常に点灯するか、損傷がないか
14	後方点滅灯（フラッシュ）	正常に点灯するか、損傷がないか
15	タイヤ	空気圧は適切か、摩耗していないか
16	反射板	損傷がないか
17	クラッチハンドル	正常に作動するか
18	シートの回転レバー	正常に作動するか
19	オイルの状況	オイル漏れがないか
20	充電器	正常に充電できるか、配線に損傷がないか

※点検項目は機種によっても変わります。実際の点検に際しては、対象機種の取扱説明書の記載内容に沿って実施してください。

### 安全利用の Point

- ① 貸与開始以降の使用者の心身の変化や、使用環境の変化を逐次観察することは困難です。このため、自ら利用者・家族・ケアマネジャーに連絡をとったり、充電を兼ねて事業所に立ち寄ってもらうよう利用者に促すなど、定期的な訪問以外にも、利用状況に関する情報の収集に努めることが望まれます。
- ② 利用継続の可否を判断する際は、家族やケアマネジャーなどの関係者との協議が必要となります。このため、モニタリングやメンテナンスの際は、利用者本人だけでなく家族やケアマネジャーなどの関係者の意見も必ず聞くとともに、実施結果については、利用者本人に加え関係者に対してもフィードバックを行うことが求められます。
- ③ モニタリング時の認知機能チェックについては、貸与開始前に比べ、確認する割合が低下することが当協会の調査で明らかになっています。認知機能の低下は時間の経過とともに進むことから、**貸与開始前と同等以上の注意をモニタリング時にも払うことが必要です。**

## 2. 貸与中止対応のポイント

- 貸与期間中に、安全利用に支障を及ぼす状況変化を認識した場合は、貸与の中止を検討します。
- 貸与を中止すべきと判断した場合は、理由を丁寧に説明した上で、相談員としての所見をサービス担当者会議等を通じて伝えます。

貸与期間中、利用者本人、家族・ケアマネジャー等の関係者からの相談、モニタリング・メンテナンス、事故の発生、などを通じて以下のような状況を認識した場合は、貸与の中止について検討を行います。

[ 貸与中止を検討すべき主なケース ]

項目	主なケース
身体機能の低下	視力・聴力の低下、筋力の低下、操作速度や反応速度の低下、立位安定性の低下など
認知機能の低下	注意力・記憶力の低下の疑い、説明内容の理解困難のおそれ、指導内容の不遵守のおそれ、など
利用環境の変化	使用ルートでの危険の増加（車の通行量の増加、大規模工事の開始、など）
貸与条件の不遵守	単独での踏切横断、急坂での使用、飲酒運転、道路の斜め横断、単独での夜間使用、交通法規の不遵守、指導内容の軽視、運転中の携帯電話の使用、など
事故・ヒヤリハットの発生	対人・対物事故やケガを伴う自損事故（もしくはこれらのヒヤリハット事例）、車体のキズの急増、など

上記検討の結果、安全性の観点から貸与を中止すべきと判断した場合は、理由を丁寧に説明した上で、相談員としての所見をサービス担当者会議等を通じて伝えます。その際は、一方的な貸与中止ではなく、可能な範囲内で代替手段についても併せて提案を行うようにします。

貸与を中止するかどうかの最終的な判断はケアマネジメントの協議を経て決定します。その際、自身の所見や関係者の意見については、サービス担当者会議録等に残しておくようにします。

### 安全利用の Point

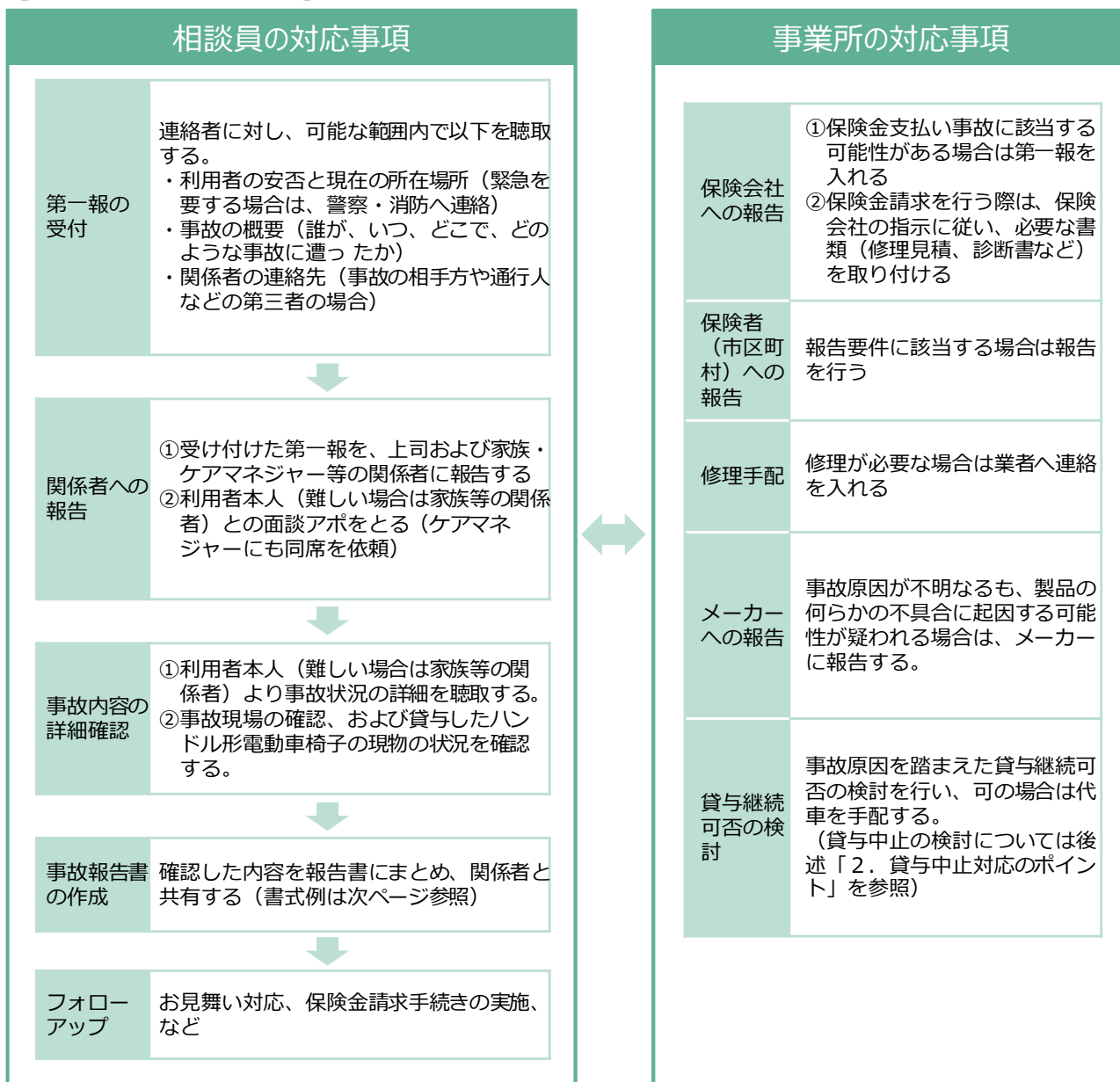
「重大な事故につながる恐れがあるかどうか」が検討の際の大切な視点となります。安全利用に懸念があり、貸与を中止すべきかどうかで自身の判断が迷った場合であっても、自身の考えを積極的に関係者に伝えるようにしましょう。

### 3. 事故対応のポイント

- 事故の発生に備え、事故対応のフローや事故報告書のフォーマットなどを予め作成しておきます。
- 事故発生時は可能な限り正確かつ詳細な情報の収集に努めるようにします。

貸与期間中に万が一利用者が事故に遭遇した場合における、一般的な対応フローは以下の通りとなります。有事の際に迅速かつ適切な対応をとることができるよう、事故への対応方法をマニュアル化するとともに、事故受付フォーマットや事故報告フォーマットなどの各種の書式についても整備しておくことが求められます。

#### [ 事故発生時の対応フロー ]



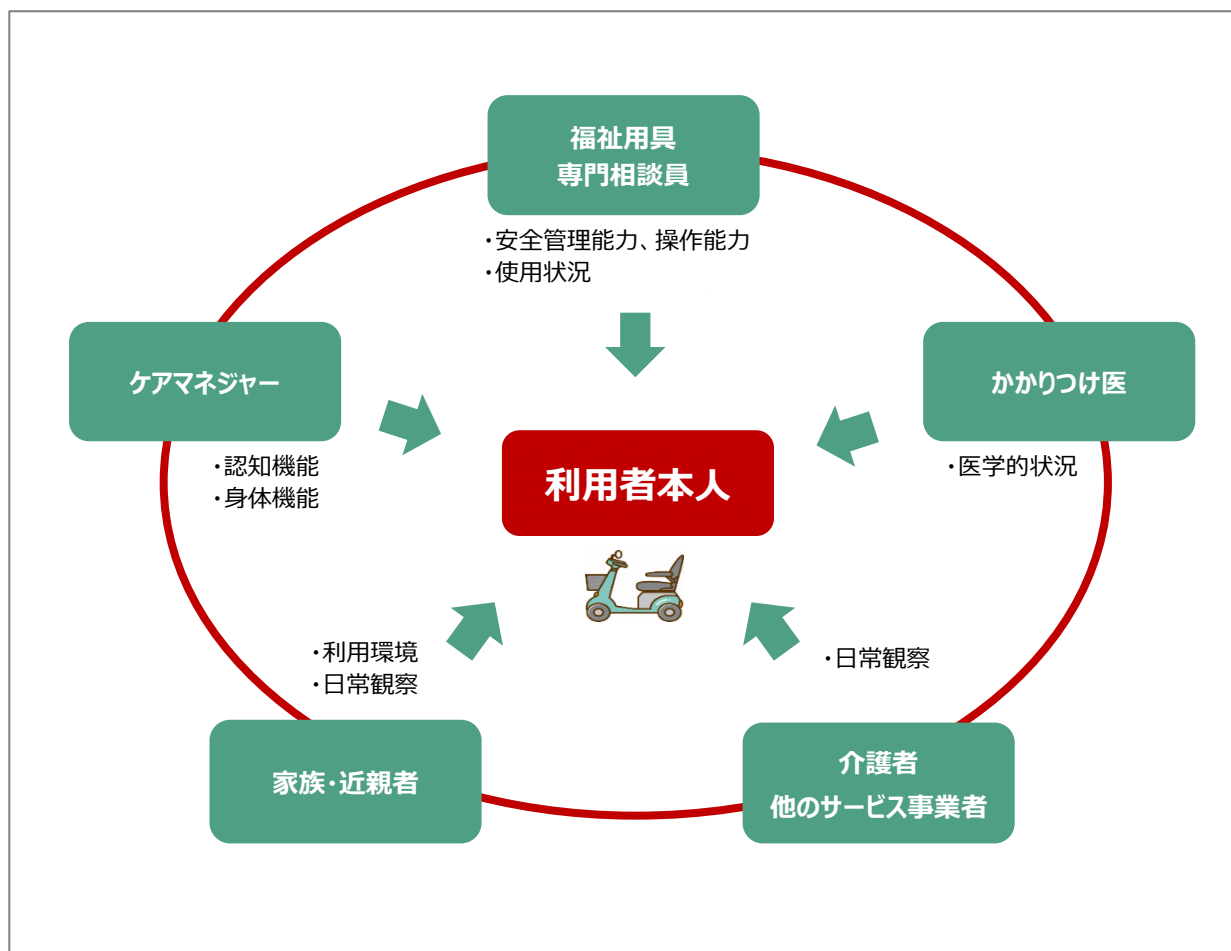
項目	記入内容
記入日	年 月 日
記入者	
事故日時	年 月 日 <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 時 分頃
事故場所	
事故状況・原因	
被害状況	
事故の相手	<input type="checkbox"/> なし（自損事故等）
	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 加害者 / <input type="checkbox"/> 被害者）
	氏名： 連絡先：
入院・通院の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（入院） <input type="checkbox"/> 有（通院）
	（「有」の場合） 受診者： <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 相手
	病院名（ ）
警察への届出	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（ 警察署）
電動車椅子の状況	破損状況：
	修理の要否 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要（修理依頼予定先： ）
備考	（利用者・家族・ケアマネジャーのコメント、事故の相手方のコメントなど）
添付資料	<input type="checkbox"/> 事故現場の写真 <input type="checkbox"/> 電動車椅子の破損状態がわかる写真 <input type="checkbox"/> その他（ ）

### 安全利用の Point

利用者への貸与継続要否や、貸与を継続した場合における再発防止策などを検討する上で、事故情報の詳細な確認は必須となります。**5W1Hを明確にするとともに、「発生した事実」に基づいて報告することが大切となります。**

## 4. まとめ

[ ケアチームでの連携による多面的な評価・判断 ]



本ガイドラインは、福祉用具専門相談員を対象に、主としてハンドル形電動車椅子の安全利用の観点から、貸与可否の判断に関する考え方や指針等を貸与実務のフローに沿ってとりまとめたものです。

しかしながら、安全利用の判断は福祉用具専門相談員のみでの評価で行うものではなく、利用者の家族の意向に加え、ケアマネジャー、かかりつけ医などの専門的な知見を有する関係者の意見も踏まえつつ、多面的な評価を経た上で、最終的にはケアチームとして判断を行うことになります。このため、こうした関係者との普段からの連携が極めて大切なポイントとなります。

### 巻末資料 1 : 各種チェックリスト

- － ハンドル形電動車椅子の操作に関する指導および評価に関するチェックリスト
- － モニタリングチェックリスト
- － メンテナンスチェックリスト

### 巻末資料 2 : 事故報告書フォーマット

ハンドル形電動車椅子の操作に関する指導および評価に関するチェックリスト

操作指導開始前の準備・確認

分類	実施項目	チェック欄
機種の選定	<input type="checkbox"/> 利用者のニーズを踏まえ、複数機種の提示を行う <input type="checkbox"/> 付属品等をつけた結果、車体の大きさの基準（※）を超過する場合は、住所地を管轄する警察署で、予め確認申請手続を済ませておく。 （※）長さ120cm以内、幅70cm以内、高さ120cm以内（ヘッドサポートを除いた高さ） <input type="checkbox"/> 急坂がある場合は、登降坂性能に関する警告機能の付いた機種を選ぶ	<input type="checkbox"/>
試乗ルートの設定	<input type="checkbox"/> 収集した情報をもとに、利用頻度の高い目的地を選び、試乗ルートを設定する <input type="checkbox"/> 試乗ルートに踏切・坂道がないか、交通量が多いかをどうかを、予め利用者に確認する	<input type="checkbox"/>
安全な練習場所の確保	<input type="checkbox"/> 「基本的な操作指導」を行うのに適した場所（人気の少ない平らな広い場所）を選ぶ	<input type="checkbox"/>
保管場所の確認	<input type="checkbox"/> スペースの広さ、出し入れの容易さ、電源の場所を確認する	<input type="checkbox"/>
自宅前道路の状況確認	<input type="checkbox"/> 自宅敷地からの段差、自宅前道路の状況（広さ、勾配など）、交通量を確認する	<input type="checkbox"/>
その他注意事項	<input type="checkbox"/> 明るい色の長袖・長ズボンおよび帽子の着用を促す <input type="checkbox"/> 「飲酒状態での操作」、「走行中の携帯電話の使用」は厳禁である旨を事前に念押しする	<input type="checkbox"/>

操作に関する指導・評価項目

①基本事項の説明

「電」:電動車いす安全普及協会冊子 / 「テ」:テクノイド協会冊子

分類	指導内容	参照冊子 ページ	評価項目	チェック・コメント 記入欄
基本的な 構造・機能	<input type="checkbox"/> バッテリー（電池）で動く <input type="checkbox"/> 速度は歩行者並み（最高速度6km/h）	電:- テ:8	<input type="checkbox"/> 説明や特性を適切に理解できているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
基本的な 交通法規	<input type="checkbox"/> 歩道を通行 <input type="checkbox"/> 歩道がなければ右側通行（歩行者と同じ）	電:1~4 テ:3		

②試乗（その1）基本的な操作指導

乗降・運転前確認	<安全な乗車・降車方法> <input type="checkbox"/> 乗ってから電源「入（ON）」 <input type="checkbox"/> 電源「切（OFF）」にしてから降りる <input type="checkbox"/> 座席の回転方法 <input type="checkbox"/> ひじかけの操作（坂道で体を保持）  <運転前確認事項> <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）の残量確認 <input type="checkbox"/> 速度設定（まずは最低速度から） <input type="checkbox"/> バックミラー調節 <input type="checkbox"/> アクセル・ブレーキの効き具合確認	電:5~7 テ:8	<input type="checkbox"/> 歩行および乗車・降車が自力で安定してできるか <input type="checkbox"/> 説明通りに実践できるか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
操作指導① 静止状態での 指導	<操作指導内容（静止状態）> <input type="checkbox"/> ①キー・電源スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ②アクセル操作（電磁ブレーキ） <input type="checkbox"/> ③ハンドル操作 <input type="checkbox"/> ④速度設定スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑤ウインカー操作 <input type="checkbox"/> ⑥ライトスイッチ操作（常に点灯） <input type="checkbox"/> ⑦手動ブレーキ操作 <input type="checkbox"/> ⑧クラッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑨バックミラーの調整及び確認 <input type="checkbox"/> ⑩クラクション操作 <input type="checkbox"/> ⑪手押しスイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑫音声案内機能操作	電:- テ:7	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
操作指導② 走行状態での 指導	<操作指導内容（走行状態）> <input type="checkbox"/> ①前進（低速→中速→高速）・後進 <input type="checkbox"/> ②停止 <input type="checkbox"/> ③右折・左折（内輪差）・旋回 <input type="checkbox"/> ④急停止（アクセルを強く握るなどの機能が備わっている場合） <input type="checkbox"/> ⑤段差昇降（静止状態で3cm）	電:- テ:-	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか <input type="checkbox"/> 反応速度に問題ないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり

③試乗（その2）路上での実践指導

分類	指導内容	参照冊子 ページ	評価項目	チェック・コメント 記入欄
(1) 主な禁止事項・ 注意事項の説明	<p>&lt;主な禁止事項&gt;</p> <input type="checkbox"/> 1人での踏切横断、1人での夜間使用 <input type="checkbox"/> 急坂での使用 <input type="checkbox"/> 道路の斜め横断 <input type="checkbox"/> 飲酒運転 <input type="checkbox"/> 走行中の携帯電話の使用	電:11~12 テ:10~13	<input type="checkbox"/> 説明を適切に理解できているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
(2) 自宅付近での 操作指導	<input type="checkbox"/> 保管場所からの出し入れ <input type="checkbox"/> 自宅敷地から自宅前道路での出し入れ <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）充電	電:ー テ:ー	<input type="checkbox"/> 衝突・転倒などのリスクはないか <input type="checkbox"/> 敷地から出る際に安全確認ができているか？ <input type="checkbox"/> 安全かつスムーズな出し入れができているか <input type="checkbox"/> 保管場所付近にコンセントはあるか、充電操作がスムーズにできるか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
(3) 実使用ルート での指導	<p>&lt;操作面の指導&gt;</p> <input type="checkbox"/> 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作（復習） <input type="checkbox"/> 危険回避にかかわる指導	電:10~13 テ:14~19	<p>&lt;全般&gt;</p> <input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できているか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか <input type="checkbox"/> 交通法規を守れているか <input type="checkbox"/> 危険の回避ができているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	<p>&lt;安全面での指導&gt;</p> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端を走行 <input type="checkbox"/> 段差・歩行者・障害物への対応の仕方 <input type="checkbox"/> 右左折時の留意点 （内輪差の認識。ウインカーの消し忘れに注意） <input type="checkbox"/> 要所要所での安全確認 （交差点、信号、横断歩道） <input type="checkbox"/> 屋内施設（自動ドア、エレベーター）の対処方法 <input type="checkbox"/> 訪問先（スーパー、病院など）での駐車場所 <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での走行		<p>&lt;安全面&gt;</p> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端をふらつきなく走行できているか <input type="checkbox"/> 歩行者や障害物を確実にかわし、安定走行を維持できるか <input type="checkbox"/> 段差の乗り越えは適切に対処できているか <input type="checkbox"/> 右左折時に内輪差を意識した走行ができているか <input type="checkbox"/> 安全に対する意識は十分か（目視確認、一時停止、最適速度、歩行者優先） <input type="checkbox"/> 信号の色を認識できるか <input type="checkbox"/> 周囲の音（車の接近音など）が聞こえているか <input type="checkbox"/> 自動ドアの通過やエレベーターの乗降はスムーズにできるか <input type="checkbox"/> 訪問先での保管・乗降スペースにおける安全性は問題ないか <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での重心のかけ方は適切にできているか	
	<p>&lt;環境面&gt;</p> <input type="checkbox"/> 踏切や急坂は走行しない（別の迂回ルートを使う。やむを得ず走行する場合は介助者が同伴） <input type="checkbox"/> 日中に自宅に戻ることが可能な範囲内での利用とし、夜間や悪天候での利用は控える。 <input type="checkbox"/> 飲酒状態での利用は厳禁。		<p>&lt;環境面&gt;</p> <input type="checkbox"/> 走行経路の安全性に問題はないか - 急坂・踏切の有無 - 転落リスクの有無（ガードレールのない路肩の傾斜した道、ふたのない側溝や用水路など） - 車両や歩行者が多く歩道のない狭い道の有無 - 信号機の間隔が短い交差点、など <input type="checkbox"/> 1回の走行距離は満充電で十分に余裕のある範囲内か	
(4) 事故・故障時に 備えた指導	<p>&lt;考え方&gt;</p> <input type="checkbox"/> まずは自身の安全を確保（その場から離れるのが基本） <input type="checkbox"/> 自力で自身の安全を確保できない場合は、周囲に危険を知らせる <input type="checkbox"/> 家族・ケアマネジャー・相談員等に連絡（軽微な事故・トラブルでも必ず連絡）	電:ー テ:ー	<input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できるか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	<p>&lt;非常時の操作&gt;</p> <input type="checkbox"/> 手動操作の方法 （非常時以外はクラッチ操作を絶対にしない）			

その他気づき事項

総合所見	<input type="checkbox"/> 貸与可（課題・留意点： ) <input type="checkbox"/> 再評価・再指導（理由： ) <input type="checkbox"/> 貸与不可
------	---



モニタリングチェックリスト

分類	番号	主な確認項目	確認のポイント	確認結果	問題ありの場合の指導内容
安全利用に関する状況	1	製品の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外観等で目立つキズはないか</li> <li>■ 走行機能は正常か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	2	走行距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用目的に照らし、適切な距離か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	3	操作面	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作は問題なくできているか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	4	安全面	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 貸与開始前の安全面での指導を実践できているか</li> <li>■ 交通法規を遵守しているか</li> <li>■ 契約時の確認事項を遵守しているか</li> <li>■ 事故やヒヤリハットに遭遇していないか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	5	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 契約時に想定していた使用目的やルートに変更はないか</li> <li>■ 契約時に想定していた使用ルートで危険箇所が新たに生じていないか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	

分類	番号	主な確認項目	内容
関係者の意見	1	家族の意見	
	2	ケアマネジャーの意見	
	3	他の医療・介護サービスからの意見（医療・認知・身体機能）	

全般所見	
------	--

メンテナンスチェックリスト

番号	主な点検項目	チェックポイント	確認結果	異常ありの場合の是正処置
1	車椅子の外観・足回り	損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
2	ハンドル	操作時にゆるみやがたつきがないか、まっすぐ進むか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
3	バッテリーの残量表示	正しく表示されるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
4	バッテリーの状態	劣化・損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
5	表示パネル	正常に表示されるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
6	速度設定スイッチ	速度が正常に変化するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
7	ヘッドランプ	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
8	バックミラー	損傷がないか、正しく調整できているか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
9	手動ブレーキレバー	利きが正常か	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
10	アクセルレバー	利きが正常か	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
11	ホーンスイッチ（警笛）	正常に鳴るか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
12	前後進切り替えレバー	正常に切り替えできるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
13	ウインカー（前・後）	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
14	後方点滅灯（フラッシュ）	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
15	タイヤ	空気圧は適切か、摩耗していないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
16	反射板	損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
17	クラッチハンドル	正常に作動するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
18	シートの回転レバー	正常に作動するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
19	オイルの状況	オイル漏れがないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
20	充電器	正常に充電できるか、配線に損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	

全般所見	
------	--

事故報告書フォーマット	
項目	記入内容
記入日	年 月 日
記入者	
事故日時	年 月 日 □午前 □午後 時 分頃
事故場所	
事故状況・原因	
被害状況	
事故の相手	<input type="checkbox"/> なし（自損事故等）
	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 加害者 / <input type="checkbox"/> 被害者）
	氏名： 連絡先：
入院・通院の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（入院） <input type="checkbox"/> 有（通院）
	（「有」の場合） 受診者： <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 相手 病院名（ ）
警察への届出	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（ 警察署 ）
電動車椅子の状況	破損状況：
	修理の要否 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要（修理依頼予定先： ）
備考	（利用者・家族・ケアマネジャーのコメント、事故の相手方のコメントなど）
添付資料	<input type="checkbox"/> 事故現場の写真 <input type="checkbox"/> 電動車椅子の破損状態がわかる写真 <input type="checkbox"/> その他（ ）

事故報告書フォーマット

【事故現場付近見取り図】

---

[ 福祉用具専門相談員向け ]

ハンドル形電動車椅子の貸与実務における  
安全利用のためのガイドライン

-ハンドル形電動車椅子を安全にご利用いただくために-

令和3年3月

発行： 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

【事務局支援】MS&AD インターリスク総研株式会社

---